



高崎経済大学地域科学研究所

2018（平成30）年度第1回公開講演会

# 「食品ロス」対策の現状

## －身近な事例から世界の事例まで－

昨今メディアでも見かけることが多くなってきた、食べられるのに捨てられている食品を指す「食品ロス」。

国連でも2030年までに取り組むべき目標として掲げている「Sustainable Development Goals」に組み込まれ、世界中の国で対策が始まっている。

日本でも関係省庁、自治体、民間企業がそれぞれの立場で対策を打ち出しているが、まだまだ始まったばかりの状況である。

一人一人が、市民として、消費者として、まずは現状を知り、考え、毎日の生活で実践していけるよう、最新の調査結果を交えつつ新しい様々な取り組みの紹介や考え方の提言を行う。

**講師： 村田 香織 氏**  
(接点合同会社 代表社員)

**日時： 平成30年6月18日（月）**  
**16時00分～17時30分**

**場所： 高崎経済大学図書館ホール**

**\* 入場無料・事前予約不要**

《講師プロフィール》 村田 香織（むらた かおり）

子供の頃から環境問題に興味をもち、大学では環境経済学を学ぶ。東京大学大学院卒。

野村総合研究所入社後、システムコンサルタントとして、製造業（自動車）、通信キャリア、放送会社、運輸、流通小売等のIT中期計画策定、新規事業提案、IT組織改革、システム要件定義、課題解決実行支援等に従事した後、循環する経済（Circular Economy）の実現を目指して接点合同会社を設立。

現在はフードロスについての調査研究、食品余剰活用プラットフォーム構築、企業・民間向け講演、自治体の取り組み支援をする傍ら、プログラマーとして、webサービス・アプリの企画、設計、開発も行う。

《お問合せ先》 高崎経済大学地域科学研究所

(事務局 研究グループ研究支援チーム)

電話：027-344-6267

E-mail：chiikikagaku@tcue.ac.jp